



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
コード番号 9656 URL <https://www.greenland.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松野隆徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,858	16.6	826	36.2	830	25.5	590	23.3
2022年12月期第3四半期	4,168		606		662		479	

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 669百万円 (%) 2022年12月期第3四半期 472百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	57.14	
2022年12月期第3四半期	46.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	19,301	9,934	51.5	960.98
2022年12月期	19,247	9,408	48.9	910.18

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 9,934百万円 2022年12月期 9,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		3.00		9.00	12.00
2023年12月期		5.00			
2023年12月期(予想)				9.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想の修正については、本日(2023年11月9日)公表いたしました「連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	8.2	750	1.8	760	7.3	460	7.4	44.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年11月9日)公表いたしました「連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	10,346,683 株	2022年12月期	10,346,683 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	9,260 株	2022年12月期	9,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	10,337,423 株	2022年12月期3Q	10,337,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い行動制限が緩和され、個人消費やインバウンド需要の回復もあり、経済活動は正常化に向かいつつある一方、原材料やエネルギー価格の上昇、急激な為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である九州の遊園地では、書き入れ時であるゴールデンウィークにおいては、雨天による集客の伸び悩みはありましたものの、春休みや夏休み期間を中心に順調に集客でき、九州のホテルともども全国旅行支援事業の後押し効果もあり、利用者数は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,858,716千円（前年同期比16.6%増）となり、営業利益は826,154千円（前年同期比36.2%増）、経常利益は830,860千円（前年同期比25.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は590,681千円（前年同期比23.3%増）となりました。

項目	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	4,858,716	4,168,313	690,403	16.6
営業利益	826,154	606,661	219,493	36.2
経常利益	830,860	662,292	168,568	25.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	590,681	479,252	111,429	23.3

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

・遊園地セグメント

九州の遊園地は、季節ごとに話題性のあるイベントを開催し、夏季にはアトラクションのリニューアルやプールエリアも拡大し、利用者数を大きく伸ばしました。また、新たな飲食テナントの園内への出店やレストラン店舗の建て替えなど施設の魅力拡充に取り組むとともに、利用料金の改定による収益基盤の強化を図りました。

北海道の遊園地は、ゴールデンウィークや夏休み期間を中心にバラエティに富んだイベントを開催するとともに、9月には新たな花火大会も実施しましたが、ゴールデンウィーク前半の天候不良もあり、利用者数は前年と同程度にとどまりました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比295,264千円増収（+14.7%）の2,308,269千円となりました。

・ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、施設の拡充やコース改良、ならびにコース整備に取り組み、韓国からのゴルファー客のご利用に大きな回復傾向が見られたものの、5月の天候不良等や夏場の猛暑もあり、利用者数は減少いたしました。一方で、プレー料金や割引等の見直しにより客単価は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比350千円増収（+0.0%）の752,757千円となりました。

・ホテルセグメント

九州のホテルは、宿泊部門では遊園地やゴルフ場利用客の利用拡大を図るとともに、料飲・宴会部門ではメニューの拡充や各種団体の取り込みに注力し、全国旅行支援事業の効果もあり、利用者数は大きく増加いたしました。また、ホテルヴェルデでは大規模な改修工事を実施し、館内の環境改善を図りました。

北海道のホテルは、宿泊部門ではビジネス客のほか、団体客や韓国からのゴルフ場利用客の取り込みを強化し、宴会部門では宴会需要の回復傾向が続いており、利用者数は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比411,398千円増収（+40.3%）の1,432,527千円となりました。

・不動産セグメント

不動産セグメントは、前年に一部テナントに係る土地賃貸借契約が終了したことに伴い、賃貸収入が減少し、売上高は前年同期比3,375千円減収(△2.7%)の121,564千円となりました。

・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、バイオマス火力発電所への燃料投入業務は増加しましたが、ポゾテック等の建設資材販売や土木工事受注が減少したため、売上高は前年同期比13,234千円減収(△5.2%)の243,596千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、19,301,756千円(前連結会計年度末比54,625千円増加)となりました。

流動資産は、1,096,918千円(前連結会計年度末比51,012千円減少)となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、18,204,838千円(前連結会計年度末比105,637千円増加)となりました。これは主に、土地、繰延税金資産が減少したものの、建物及び構築物、その他(工具、器具及び備品)、投資有価証券が増加したことによるものであります。

流動負債は、4,970,740千円(前連結会計年度末比845,459千円減少)となりました。これは主に、短期借入金、未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、4,397,010千円(前連結会計年度末比374,953千円増加)となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び期末配当予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正いたしております。

なお、詳細につきましては、本日開示の「連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	697,260	657,223
受取手形及び売掛金	309,590	290,346
商品	41,364	40,793
原材料及び貯蔵品	51,753	49,967
その他	50,961	61,201
貸倒引当金	△2,999	△2,614
流動資産合計	1,147,930	1,096,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,756,638	1,821,078
機械装置及び運搬具(純額)	436,227	407,166
土地	14,838,467	14,761,149
その他(純額)	115,791	200,611
有形固定資産合計	17,147,124	17,190,005
無形固定資産		
その他	203,104	205,824
無形固定資産合計	203,104	205,824
投資その他の資産		
投資有価証券	261,065	369,919
繰延税金資産	218,168	169,454
退職給付に係る資産	190,357	199,398
その他	80,180	70,235
貸倒引当金	△800	—
投資その他の資産合計	748,971	809,008
固定資産合計	18,099,200	18,204,838
資産合計	19,247,131	19,301,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,741	71,669
営業未払金	151,698	180,337
短期借入金	4,664,660	3,914,475
未払金	449,447	328,105
未払法人税等	157,113	141,974
賞与引当金	—	58,398
その他	296,538	275,779
流動負債合計	5,816,199	4,970,740
固定負債		
長期借入金	1,537,256	1,952,665
長期預り金	2,349,222	2,294,122
退職給付に係る負債	11,350	8,975
その他	124,228	141,247
固定負債合計	4,022,056	4,397,010
負債合計	9,838,256	9,367,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	437,565	883,523
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	9,382,464	9,828,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,409	105,584
その他の包括利益累計額合計	26,409	105,584
純資産合計	9,408,874	9,934,006
負債純資産合計	19,247,131	19,301,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,168,313	4,858,716
売上原価	3,134,162	3,568,964
売上総利益	1,034,151	1,289,752
販売費及び一般管理費	427,490	463,598
営業利益	606,661	826,154
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	7,379	7,527
受取賃貸料	3,771	4,965
受取保険金	4,074	96
助成金収入	63,371	14,798
雑収入	9,776	8,544
営業外収益合計	88,377	35,941
営業外費用		
支払利息	30,312	27,039
雑損失	2,434	4,195
営業外費用合計	32,746	31,234
経常利益	662,292	830,860
特別利益		
固定資産売却益	3,953	2,965
固定資産交換差益	—	2,227
投資有価証券売却益	—	2,000
工事負担金等受入額	—	30,000
特別利益合計	3,953	37,193
特別損失		
固定資産除売却損	1,213	26,731
固定資産圧縮損	—	2,227
特別損失合計	1,213	28,958
税金等調整前四半期純利益	665,032	839,095
法人税、住民税及び事業税	118,426	223,752
法人税等調整額	67,354	24,661
法人税等合計	185,780	248,413
四半期純利益	479,252	590,681
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,252	590,681

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	479,252	590,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,080	79,174
その他の包括利益合計	△7,080	79,174
四半期包括利益	472,171	669,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,171	669,855
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,013,005	752,407	1,021,129	124,940	256,831	4,168,313	—	4,168,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,981	8,340	15,382	8,406	6,028	44,139	△44,139	—
計	2,018,987	760,747	1,036,511	133,346	262,859	4,212,452	△44,139	4,168,313
セグメント利益又は損失(△)	680,325	70,928	△33,305	80,883	57,789	856,622	△249,960	606,661

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,323千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,308,269	752,757	1,432,527	121,564	243,596	4,858,716	—	4,858,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,346	8,376	15,328	8,406	4,128	49,586	△49,586	—
計	2,321,616	761,134	1,447,856	129,970	247,724	4,908,303	△49,586	4,858,716
セグメント利益又は損失(△)	778,861	46,789	154,949	78,580	43,388	1,102,570	△276,415	826,154

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△276,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。